

鹿児島県漁海況週報

平成30年12月20日発行(12月13日～12月19日)
第2785報【旧暦:11月7日～11月13日/月齢5.8～11.8/潮汐:小潮～中潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、12月19日現在、竹島の南3.4マイル付近にあり、接岸している。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、12月18日現在、22マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、全ての海域で0.2～1.0℃降温した。

平年比較では、与路島、甕海峡で“著しく高め”、佐多岬、竹島で“かなり高め”、屋久島御崎、笠利崎、与論で“やや高め”、黒潮流域、鹿児島、中之島で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	23.8	-0.2	+0.3	平年並
鹿児島	19.1	-0.4	+0.2	平年並
佐多岬	21.9	-0.5	+1.8	かなり高め
竹島	22.6	-1.0	+1.2	かなり高め
屋久島御崎	23.0	-0.9	+1.0	やや高め
中之島	23.3	-0.4	+0.1	平年並
笠利崎	23.1	-0.5	+0.4	やや高め
与路島	24.1	-0.2	+1.2	著しく高め
与論	23.8	-0.7	+0.5	やや高め
甕海峡	21.4	-0.8	+2.3	著しく高め

鹿児島～那覇定期客船観測は12/17～20
串木野～甕定期客船観測は12/19

【漁況】

○定置網

甕島海域では、ヒラソウダ(0.8～1.5kg)が100～220kg/日、1日のみマルソウダ(300g)が1.2トン、週計でハンショウカジキ(32～50kg)が7尾の入網。西薩南部海域では、1日のみゴマサバ(200～300g)が6トン、マルソウダ(500g前後)が1.4トン、ヒラソウダ(500～600g)が800kg、サワラ(0.4～4kg)が500kg、アオリイカ(200～900g)が200kg、フリ(4kg)が250kg、カンパチ(1～2kg)が200kgの入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、ハカツオ(2～3kg)が150～180kg/日、カンパチ(1.3～1.7kg)が280～300kg/日、1日のみゴマサバ(300～500g)が1.5トン、ヒラソウダ(1.5kg)が150kgの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でハカツオ(1.5～2kg)が500kg、ヒラソウダ(500～800g)が450kg、ゴマサバ(700～800g)が90kg、マサバ(200～400g)が90kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で49統がサバ類中、マサバ小、フリ主体に38トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でカタチイワシ、フリ、マサバ主体に9.7トンの入網。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	前週		前年同期		
							隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	1	21	天草沖	サバ類小53 サバ類中16 フリ15	21.0	0	—	5	119
		中	4	21	串木野沖 縄瀬	サバ類豆76 ウルメイワシ11 サバ類小7	5.2	3	77	10	258
	枕崎	大	7	220	種子島東 内之浦沖 野間池沖 西新曾根	ゴマサバ小22 マサバ小16 クサヤモロ中小16	31.4	7	300	7	479
		中	7	117	立目崎沖 内之浦沖	マサバ豆43 ゴマサバ小15 マサバ大13	16.7	16	413	13	315
	内之浦	中	0	—			—	0	—	0	—
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
	計	大	8	241			30.1	7	300	12	597
中	11	137				12.5	19	490	23	573	
東海旋網	阿久根	0	—			—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—			—	0	—	1	316	
棒受網	阿久根	17	10	阿久根沖 長島	キビナゴ81 カタチイワシ19	0.6	15	8	22	11	
	内之浦	0	—			—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	49	38		サバ類中42 マサバ小25 フリ12	0.8	49	33	45	40	
刺網	阿久根	47	4	甕 長島 阿久根沖	キビナゴ100	0.1	45	7	26	1	
カツオ竿釣・海外旋網	枕崎	大	0	—		—	1	366	0	—	
		小	0	—		—	0	—	0	—	
	海旋	0	—			—	3	1932	0	—	
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
		海旋	1	283		カツオ小81 カツオ中7 カツオ大7	283.1	1	712	2	976

○キビナゴ刺網

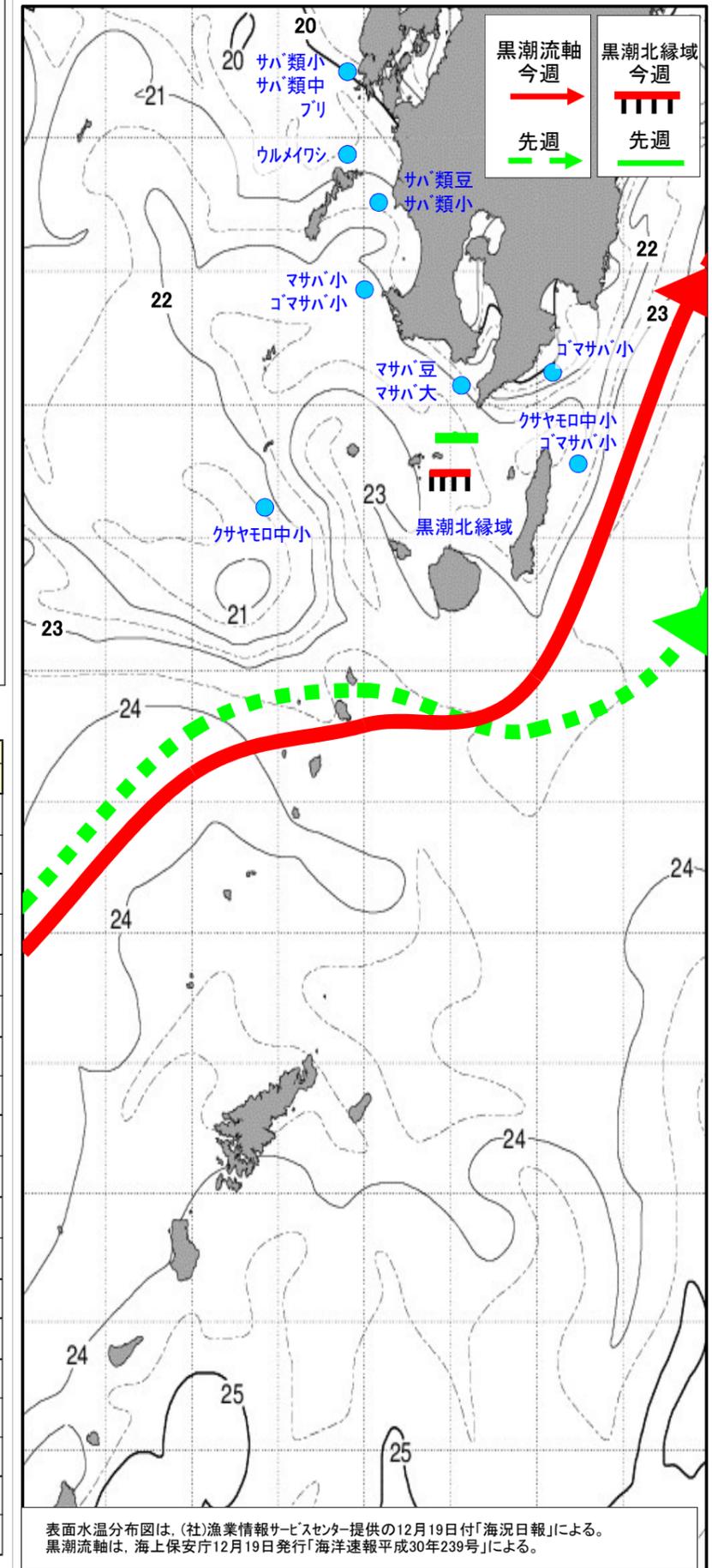
甕島海域では、1～10箱/隻・日の漁。種子島海域では、10箱/隻・日の漁。

○フリ銅付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、5～8kgを10～60尾/統・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、3～11kgを60～130尾/統・日の漁。大隅半島南部海域では、3～7kgを110～180尾/統・日の漁。

○その他

甕島海域では、曳縄でスマ(1kg)を50～100kg/隻・日の漁。西薩海域では、ごち網でマダイ(0.5～2kg)を6～30kg/隻・日の漁。曳縄でサワラ(0.5～2kg)を10～20kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でツキヒガイ(100g)を24～25kg/隻・日、ヒゲナガエビを200kg/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、刺網でヒゲイ(300～600g)を17～18kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、底曳網でコウイカ(100～200g)を20～30kg/隻・日、カイワリ(100～200g)を20～30kg/隻・日の漁。屋久島海域では、一本釣りでゴマサバ(500～600g)を20尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの3～5日操業でソデイカ(胴体のみ8～9kg)を5～66ハイ/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の12月19日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁12月19日発行「海洋通報平成30年239号」による。